

あ ら ぐ さ



学院長あいさつ

第31期生のみなさん、卒業おめでとうございます。
3年間がんばり抜き、そして先日は国家試験で全力を出し切った31期生の皆さんは今、達成感と解放感に浸っていることでしょう。

振り返ってみますと、31期生は入学後、しばらくすると授業中落ち着きがなく私語が多く、叱られることが多いクラスでした。しかし、戴帽式の取り組みを通して、クラスの団結が高まり、個々の変化も見られました。

2年生になって4カ月実習があり、苦勞しながらも大きく成長し、また学園祭や球技大会を中心になって引張ってくれました。グループ学習では疑問を持ちながらも、継続することによってその効果を実感し、定着させていきました。

3年生になり国家試験に向けて当初は厳しい人もいましたが、持ち前のクラスの協調性を活かし押し上げ、目ざましい成績の向上を見せてくれました。きっと最高の結果が出ることでしょう。

さて、4月からは一人ひとりのそれぞれの道を歩み始めることになります。また新たな挑戦と試練の始まりです。特に最初の1年は大変で苦勞も多いですが、皆さんの吸収力は素晴らしく、きっと大きく成長できる1年になるでしょう。がんばり抜いて下さい。

そして、辛くなったり、また嬉しいことがあれば、あの教務室に来て話を聞かせて下さい。私たちもそ

れを楽しみに待っています。

最後に、いつまでも「共立高等看護学院」卒業生の自信と誇りを持ち、一歩一歩前進し活躍してくれることを期待しています。

上嶋准嗣

31期生 36名感動の卒業式

3月12日、共立高等看護学院第31期生の卒業式が、多くの「来賓」(父母のみなさま)に見守られる中で挙行されました。卒業証書を授与された卒業生36名の姿は凛としており、3年間精一杯仲間と共に学び頑張り抜いた様子が伺えました。

31期生は入学当初、学習や臨地実習など、初めて看護と出会い戸惑いの中、去る仲間との悲しい別れもありました。しかし、仲間と共に一つ一つ乗り越えてきました。また、2年次は長期の臨地実習によって個の力を培うことができました。そして、3年次は、春のケース発表、優勝した球技大会、臨地実習、個々の看護観を深めた卒業研究発表会等思いつく間もなく走り込みました。そして、一番の山でもある国試対策では「一致団結31期!最後まであきらめない!全員合格!」を掛け声に早朝から遅くまで仲間と共に学び36名全員で挑む事ができました。3年間の確かな歩みは、皆さんを個としても大きく成長させ、集団としても一人一人を大事にできる素晴らしい

しいクラスへと深化させる原動力になったと確信しています。

私は、このような31期生の3年間の姿から「学生は限らない可能性を持っている」「必ず成長する」ということを教えていただきました。この31期生からの学びを念頭に置き、あきらめない教育を邁進していきたいと考えています。31期生と沢山笑ったり、泣いたり、感動させてもらった時間に本当に感謝しています。ありがとうございました。

医療の現場へ羽ばたく卒業生たち、これから進む臨床は、尊い命と向き合う場であり厳しい現実も待ち受けています。しかし、そのような時には3年間頑張り抜いた自分自身の足跡、いつも近くには仲間がいること、そして、この共立高等看護学院で学んだこと一つ一つを思い出してぜひ乗り越えてもらいたいと思っています。そして、乗り越えた後にはまた一回り大きくなった自分に出会えるはずです。自分の力を信じて、支えて下さる周囲の方を信頼し進んで行きましょう。31期生としての誇りを持ち続けながら、豊かで温かな看護師へと成長されることを期待しています。そして、卒業後もいつでも、私たち教職員が応援していることを忘れずに、また元気な姿を見せに来て下さいね。

最後になりましたが、3年間31期生を温かく見守り支えてくださったご家族、そして、輝かしい成長へと導いていただいた臨床の方々に深く感謝いたします。

31期生担任 細田江里



1年生コーナー

基礎Ⅱ実習を終えて・・・

33期生は2月20日から2週間、実習がありました。実習直前まで後期期末試験というハードなスケジュールでしたが、気持ちを切り替えて実習に取り組みました。今回の基礎看護実習Ⅱでは、病態学習が加わり患者さんの体の中で起きている出来事を理解して、どのような看護が必要とされるのかを学ぶ実習でした。実習中は、レポートや看護技術の実践に苦戦したり、患者さんとのコミュニケーションに悩んだりと新たな難関が出現しました。これまで習得した知識や技術を総動員させ、仲間とも協力し合いながら実習を乗り越えることができました。最終日に、学生との別れを惜しむ患者さんが涙している姿から、誠実に患者さんに向き合っていた学生の様子がうかがえました。この実習を通じて、患者さんの身体面・精神面の理解が必要であり、看護援助は根拠をもって実践されるものであると学ぶことができました。また、仲間の存在が大きい事も実感できたと思います。実習が終わった33期生は表情が引き締まり、成長した姿を見て担任として非常に嬉しく思いました。

1年次は初めて経験することの連続でした。一人一人の努力とご家族の協力を得ながら、目の前の課題を確実に乗り越えながら春を迎えることができました。これからも大きな可能性を秘めている33期生の成長を見守っていきたいと考えています。

33期生担任 中込英利香

2年生コーナー

4ヶ月の各論実習を終えて・・・

32期生は10月から2月までという長期の臨地実習を終えました。今回の各論実習では、内科はもとより急性期（外科）の看護や小児科、母性、障害児保育など盛りだくさんの内容を経験することができました。初めての分野の実習であり、多くの学生が戸惑いや不安を抱えながらも、グループメンバーと協力し合い、乗り越えていきました。実習を通じて普段とは違うクラスメイトの一面を知る機会でもあり、様々な人の価値観に触れる中で、看護師として一人の人として大きく成長した4カ月でした。本当に自分は看護師になれるのか？向いているのか？悩んだ時間もあつたかも知れませんが、一人では挫折そうになることも、同じ目標に向かって頑張る仲間がいたからこそ乗り越えられたことを実感し、一人ひとりのクラスメイトの大切さに気づけた実習でした。

実習後は後期の期末テストを終え、春のケースレポート発表会に向け準備し最終学年に備えています。来年度はいよいよ3年生。32期生が、今後も一人ひとりを大切に思い、助け合えるクラスであることを期待しています。そして一年後、みんなが笑顔で卒業式を迎えられることを祈っています。

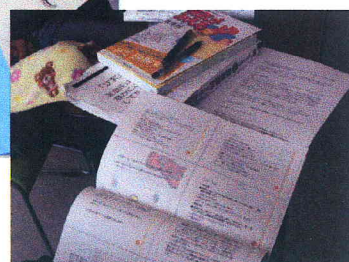
32期生担任 成島 美里



2年生
実習後の
「与薬」校内実習



1年生
実習後の
AED 特別講義



父母の会より

*2012 年度父母の会総会のお知らせ

4月5日(木) 12時 共立高看4階図書室

(議案と開催案内を3月22日に全会員送付済み)

*第二回役員会報告(3月12日)

戴帽式、実習激励、卒業式にそれぞれ図書券や記念写真を贈ったことが報告されました。卒業式直後の3年生の役員さんから「成長した我が子に遅れないよう頑張りたい」「国家試験勉強に打ち込む3年生を親として、会として、どう励まし、何が出来なのかよくわからず、先生達に任せきりだった」との声が出され話し合いました。

親が国家試験への出発バスを見送る、父母の会激励力レーを作る、学校からも学生状況や家族にしたいことを発信する、自立する年代で親が出てくるのを嫌がる学生もいるので工夫が必要等、思いの込められた意見が出されました。次年度に活かすこととしました。その他に4月の総会議案と次期役員体制の検討を行いました。共立高看に寄贈する書籍19冊を確認しました。お忙しい中、出席された役員さん御苦労様でした。3年生の役員さん、卒業おめでとうございます。3年間お疲れ様でした。



今後の主な予定



3/17 ~	春期休暇
3/26	<u>14時</u> 国家試験合格発表
4/4	始業式
4/5	入学式
4/9	春のケース発表会(3年生)
4/10	校内模試(3年生)
4/11	校内模試(2年生)
4/12	防災訓練
5/11	球技大会
5/19	雑草祭
5/28~6/22	精神Ⅰ・Ⅱ、地域Ⅰ実習(3年生)
6/11 ~ 7/6	老年Ⅰ、小児Ⅰ実習(2年生)

◇共立高看 教職員活動報告◇

2/18 第23回山梨県民主医療機関連合会 学術運動交流集会

口演

「A 看護専門学校における卒年次の学生の看護観」～ケーススタディの考察の分析から～
ポスターセッション

押領司 民

「地域看護学実習Ⅰ(診療所実習)における学生の学びの報告」

梶原 奈津子

2/23 講師活動：全日本民医連北関東甲信越地方協議会 看護師受入担当者研修交流会

講師 副学院長 三浦 昭子「看護職を目指す 初学者の理解」～実習施設を魅力的にするために～

藤本未央先生が、

産休・育児休暇に入りました。

2012年1月23日 3720gの

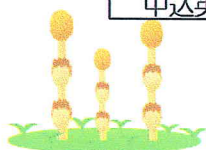
大きく元気な男の子が誕生しました！



☆編集委員☆

三浦昭子・水上和貴

中込英利香・成島美里



～編集後記～

史上最大であり最悪の被害をもたらした昨年の3月11日に発生した東日本大震災から1年余。一日も早い復興へ協力をしていきたいと国民の一人として痛切に思います。震災の犠牲者への黙祷で始まった3月12日の31期生卒業式では、震災で命を落としたり、大きく進路を変えざるをえなかった同じ志の若者がいたことの心の傷みと、看護を学び続けられ、無事、卒業式を迎えられたことの喜びと感謝が卒業生より述べられました。達成感を持ち、次のステップを踏み出そうとしている卒業生の姿は、参列者一同に大きな勇気を与えてくれる力を持っていました。今回のニュースはそんな卒業式のニュースを中心に編集しました。在校生も引き続き頑張っています。あらためて31期生卒業おめでとう！

どんな時代でも、何か起ころうとも前に進む勇気とパワーを持ち続けてほしい。(三浦)